

仲間と一緒に成長できた

ひらつか

平塚市ジュニア・リーダーズクラブでは、市内の中学生・高校生が学校・学年の垣根を越えて、さまざまな活動を行っています。中でも8月の夏キャンプは、子どもたちが講習会や練習の成果を発揮する最も大きなイベント。キャンプの夜は、キャンドルファイヤーが毎年の恒例です。優しい明かりを囲む子どもたちの姿は、達成感にあふれていました。



令和7年8月、夏キャンプの夜。ひわ青少年の家(土屋2710-1)の多目的ホール

目次

1~3面…**特集**私たちが未来のリーダー…市内の中学生・高校生が学校・学年の垣根を越え、さまざまな活動をするジュニア・リーダーズクラブを紹介します。
4~7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

未来のリーダー

1年を通して、さまざまな体験ができるジュニア・リーダーズクラブ(JLC)の活動。市JLCは①明るく・楽しく・元気よく②眠い・だるい・疲れたは言わない③当たり前のことは当たり前に④来た時よりも美しく⑤5分前行動の「ジュニア5カ条」の下、仲間を思いやり、互いに高め合う場となっています。今号ではクラブ生が実感している成長や、1年間の活動などを紹介します。

問 青少年課 71-5950



8月



市内の中学生・高校生が参加する市ジュニア・リーダーズクラブ。令和7年度は中学生23人・高校生6人のクラブ生が、キャンプなどの自主事業や地域活動に参加しました。事業の運営・企画・準備は全て自分たちでしています。クラブ生たちは自分で決めた「愛称」で呼び合いながら、楽しいことも苦しいことも一緒に乗り越え、絆を深めました。1年間、活動を支えてきた幹部のうち、高校1年生で副会長の中谷^{ゆうか}希さん(愛称・ゆうちゃん)と今村美央さん(愛称・うと)、書記の胸組羽琉さん(愛称・むねくみはる)に話を聞きました。

からで、当時高校1年生だつた姉が入つていたので興味を持ちました。姉以外は誰も知らなかつたので、とても緊張をしていたのを覚えていります。でも、積極的に話し掛けにいつていきましたね。

ゆうちゃん 何回も活動するうちに、気付いたら仲良くなっていました。初めましての人ばかりで緊張する気持ちのはよく分かるので、今では意識的に自分から仲良くしようと、動くようにしています。

うど 会長としては、活動中、誰かが一人になることがないように気にかけています。入ったばかりの子には、話しゃやすいように Yes・Noで答えられない質問をして、

仲間と成長できる場所

挑戦が自信につながる

当センターが平塚市のJLCの事業に年間を通して関わり始めたのは、令和6年からです。クラブ生同士で継承していたJLCの技術の多くが、コロナ禍で途絶えてしまったため、事業のプログラム設計などを一緒に考えていきました。より充実した内容にしたい・子どもの居場所としての価値も見いだしたいという市青少年課の思いもあり、この2年間で市JLCはよりフラットで開かれた雰囲気になっている感じています。

市JLCには市の職員が見守り安心できる環境の中で、中学生・高校生が互いに声を掛け合いながら、自発的にさまざまなことへ挑戦できる場所です。私はここで、自己肯定感や非認知能力が育まれているのを数多く目にしてきました。非認知能力とは、目標を目指して粘り強く取り組み、やり方を調整・工夫して協力し合う力などのこと。活動の中で「挑戦できる自分」を知ることで、クラブ生たちは自信を育んでいます。そしてJLCの活動場所は子どもたちの地元です。まちへの愛着を育めるのは、何よりも喜ばしいことですよね。

また全国的に見ると、JLCは行政ではなく市町村の子ども会が運営する地域も多いです。コロナ禍の活動制限などで、全国の子ども会の数が大きく減少したのを考えると、JLCも運営が厳しい状況にあると推測されます。だからこそ、平塚市のように子どもの成長体験の機会を行政として守り、今もなおプラスチックアップする形態は、将来的に一つのモデルになり得るのでは、と見ています。社会や教育の常識が日々変化する中、JLCの資質を維持するために、教員経験者である私たちが、今後も協力していくらうと思います。



私たちが



年間の主な活動予定

| | |
|-----|------------|
| 4月 | 新入生歓迎会 |
| 5月 | ステップアップ講習会 |
| 6月 | ディキャンプ |
| 8月 | 夏キャンプ |
| 9月 | ステップアップ講習会 |
| 10月 | ステップアップ講習会 |
| 11月 | 他市交流会 |
| 12月 | クリスマスキャンプ |
| 1月 | ステップアップ講習会 |
| 3月 | 総会 |

(写真は令和7年度での活動です)

講習会や自主キャンプの他に、各活動の練習や振り返りなどで集まっています。12月のクリスマスキャンプは、翌年度からクラブ生の対象になる小学校6年生を招いたイベントです。講習会の内容などは、年度によって異なります。

地域の行事でも活躍

クラブ生は講習会やキャンプなどで得た自主性や積極性を、地域のイベントの主催者から依頼された行事でも発揮しています。令和7年度は、各地域の「子ども大会」や市の「はたちのつどい」などの10事業に、延べ38人が参加しました。

令和8年度のクラブ生になりませんか?

市内在住・在学で、4月から中学校1年生～高校3年生の方32人(抽選)。2,500円。

応募 2月20日(金)～4月3日(金)に、市ウェブや各公民館・図書館、各小・中学校などにある申込書を、郵送または直接、本館1階の青少年課☎71-5950へ。
e(右2次元コード)でも応募できます。

／会話の中で緊張をほぐすようになっています。

勉強や部活など、どのように両立している?



うと 全体を気にかける、うとさん。12月のキャンプの休憩中、うとさんに集まるよう、自然と輪ができていた
自分もJLCに時間を持った
うと
自分が落ち着いたら、最近参加できている
い地域の行事に、もつと行きたいです。

こころつけ 特に感じたことはみんな違うつ入れたいことはみんな違つて、お互いに理解しているから協力でているんだと思います。僕自身、部活が落ち着いたら、最近参加できています。JLCは人前で話すのが好きになりました。おかげで学校でのプレゼンテーションも自信を持ってできています。

うと みんな得意な分野が違います。オールマイティーな人を目指すのではなく、運営は幹部で相談して「できる」とを分担しています。例えば、自分は野外炊事などの経験がないので、技術面はバッカアップできません。そこで、企画や全体の調整などをメインに、後輩たちに引き継ぎました。

ゆうちゃん 中学生にも頼れるしっかり者がたくさんいます。学年に関係なく、意見を出し合えるので、うまく分担して楽しく活動できています。

こころつけ キャンプなどに当 日、参加できないとしても、企画・練習での指導・準備など、できる時間にできる範囲で参加しています。テストや部活など、忙しい時期・力を入れたいことはみんな違つて、お互いに理解しているから協力でているんだと思います。僕自身、部活が落ち着いたら、最近参加できているんだと思います。JLCは人前で話すのが好きになりました。おかげで学校でのプレゼンテーションも自信を持ってできています。

特に感じる変化・成長は?

うと 特に感じる変化は、人前に立つて話すのが好きになりました。おかげで学校でのプレゼンテーションも自信を持つてできています。

ゆうちゃん JLCは人前で話す機会がたくさんあります。先輩ができるのは、準備を手伝って少し背中を押すことができます。なので、人前に立つと

うと JLCは学校・学年、世代の違う人とも関わるの面白い場所です。ここで身に付く力や広がる視野は、自分の強みになってしまいます。

ゆうちゃん 先輩たちにしてもらつたように、自分も後輩たちに「楽しい」を体験してほしい。そう思つて活動を続けています。ここでの出会いは、新しい自分の発見につながると思います。ぜひ、一緒に活動しましょう!

未来のメンバーに一言!

うと JLCは学校・学年、世代の違う人とも関わるの面白い場所です。ここで身に付く力や広がる視野は、自分の強みになってしまいます。

ゆうちゃん 先輩たちにしてもらつたように、自分も後輩たちに「楽しい」を体験してほしい。そう思つて活動を続けています。ここでの出会いは、新しい自分の発見につながると思います。ぜひ、一緒に活動しましょう!



春の勾玉作り教室

滑石を削って作ります(写真)。



3月26日(木)・27日(金)、午前9時30分～正午。市埋蔵文化財調査事務所。市内在住・在勤・在学で小学校3年生以上の方、各日20人(抽選)。マスク・筆記用具・軍手・不要な布・タオル、お持ちの方はエプロンやスマック。350円。汚れてもよい服装でお越しください。

応募 2月20日(金)～3月6日(金)に、参加者全員の**必要事項**・希望日・年齢(小・中学生は学年も)を、はがきで、〒259-1215寺田縄43-1市埋蔵文化財調査事務所☎59-3981へ。eでも応募できます。

応募 2月24日(火)から、市ウェブや本館6階の土木総務

まで、市ウェブや各公民館、本館7階の社会教育課☎35-1234～5522(火～金)shakai@へある応募用紙を、郵送・ファクス・メールまたは直接、同課へ。

応募 3月21日(土)午前10時～正午。市民活動センター(見附町1～8)。20人(先着順)。メールまたは直接、市民活動センターカー31-7571 Fax35-16601 info@hiratsuka-shimin.netへ。

施設の技術員

タジアムひらつかや、レモンバッティングパレス相石ス

飲み物・滑り止めがない軍手

一組6人まで)。食材・食器・
人形劇 団のアフターマーチ
が上演します。童謡メドレー
も披露します。

人形劇 てぶくろ

応募 3月20日(金)～3月4日(水)に、電話または直接、本館7階の協働推進課☎21-9618へ。

木炭に火を起こす方法を学び、実際に施設の機材を使用してバーベキューをします。

3月28日(土)、4月12日(日)の午前10時30分～午後3時。雨天中止。びわ青少年の家(土屋2710-1)。市内在住の未就学児または小学生と家族、各日8組(抽選)。

入学の準備を始めましょう

入学通知書を確認

4月から新たに小・中学生になる子どもがいる家庭に、1月に入学通知書を郵送しました。通知書が届いていない場合や、記載に誤りがある場合はお問い合わせください。対象は、平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれの新小学校1年生と、平成25年4月2日～26年4月1日生まれの新中学校1年生です。

次の方は本館7階の学務課に直接、届け出してください。①県立中等教育学校、国立・私立の学校に入学する方②外国籍で市内の小・中学校に入学を希望する方。①は入学する学校の入学承諾書をお持ちください。

義務教育費の援助

経済的な理由で小・中学校への通学に困っている方へ、就学に必要な費用の一部を援助します。希望する方は、通学する学

駅前広場の地下道広告板を活用しませんか

駅前広場の広告板に広告物を掲載できます。使用期間は4月1日(水)から1年間。47力所(先着順)。年額8万4000円～14万4000円。月単位でも使用できます。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

社会教育委員

社会教育の諸計画の立案や必要な調査研究などをします。任期は6月1日(月)から2年間。次の条件を満たす方2人(選考)。①市内に1年以上在住②6月1日時点での高校生を除く18～75歳で、他の付属機関などの委員でない③平

市民活動のはじめ方講座

活動に必要な仲間の集め方や企画の立て方など、地域での市民活動をスタートする方法を学ぶ講座です。地域のために何かしたい方や、活動のイメージはあるても具体的な進め方が分からぬ方、思いを形にしませんか。

放送員 2月24日(火)、3月2日(月)を除く2月20日(金)～3月6日(金)に、電話または直接、大原1-1総合公園管理事務所☎35-12233へ。

地域の行事にイベント用品を貸し出します

自治会や子ども会などが触れ合い活動に使う、イベント用品を貸し出します。貸出品は、ポップコーン機・綿菓子機・かき氷機・発電機・焼きそば台・焼き物器。

4月～9月の先行予約を受け付けます。貸出期間は5日以内。抽選。先行予約期間の終了後は先着順。抽選に外れた場合は、3月9日(月)までに連絡します。

駅前広場の地下道広告板を活用しませんか

駅前広場の広告板に広告物

募 集

応募方法は
右側

- 応募のある記事は事前に応募が必要です
- 必要事項は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
- メールの場合、以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- eは、電子申請システムイーカナガワ(e-kanagawa)。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます
- 市役所の開庁時間は、午前8時30分～午後5時です

春休み 子ども囲碁入門教室



囲碁を覚えてみませんか。修了者には、25級の認定証を渡します。
3月30日(月)を除く26日(木)～31日(火)、全5回、午前9時30分～11時30分。まちづくり財団(見附町31-10)。4回以上参加できる、小・中学生18人(抽選・4月から小学校1年生になる方も参加できます・初めての方を優先)。

応募 2月21日(土)午前10時～3月12日(木)午後5時に、まちづくり財団文化事業課☎32-2237ウェブで応募してください。

校へお申し出ください。

対象は、市立小・中学校に在学する子ども、または市内在住で県立中等教育学校の前期課程に在学する子どもがいる家庭です。内容は学用品・通学用品費、遠足・修学旅行参加費、給食費などです。現在、援助を受けていて、4月以降も援助を希望する方も申請が必要です。4月に新小学校1年生となる方は、入学後すぐに学校にお申し出ください。

学区外の学校への入学手続き

次の場合は学区外の小・中学校に入学できます。必要書類を持って学務課で手続きしてください。

①仕事の都合などで保護者が家庭に不在で、小学校から自宅以外の場所に下校させたい②家屋を建築中などで、転居予定地の小・中学校へあらかじめ入学させたい。①は預かり承諾書・同居の就労している方全員分の就労証明書②は建築確認書の写しなど。

問 学務課☎35-8118